

総務産業常任委員会会議録

- 1 日 時 令和7年3月18日(火)
13時32分開会 14時01分閉会
- 2 会議場所 役場3階 第1委員会室
- 3 出席議員 川上 均、橋本晃明、山本奈央、桜井崇裕、佐藤幸一、西山輝和
議 長：山下清美
- 4 事 務 局 事務局長：大尾 智、次長兼総務係長：川口二郎、
- 5 議 件
(1) 所管事務調査の申し出事項について
(2) その他
- 6 会 議 録 別紙のとおり

【開会 13 : 32】

(1) 所管事務調査の申し出事項について

委員長（川上 均）：只今から総務産業常任委員会を開催する。議案については（1）の所管事務調査の申し出についてである。前回山本委員、西山委員、桜井委員から出された議題について、皆さんの方からどれを取り上げて進めるのかということについて考えていただくということで今日持ち寄っていただきたいと思います。ただ、基本的にはそれぞれの課題を明確にして、そして課題を解決するためにどのような調査項目を具体的に持つていくかということが重要になると思う。これについて調べたいというだけでは不十分だと私は思っている。そういう部分の観点でもう一度皆さんの方から提案内容について説明いただきたいと思います。山本委員、もう一度申し訳ないが、前回町有林、まちなか再生、DX、そして国立公園の観光化、ジビエ活用についてのそれぞれの課題、自分なりの課題、そしてどのようなことを調査したいのかということをもう一度詳しく説明をしていただきたいと思います。

山本委員：町有林に関しては、昨年もそうであるが、クマの出没などが増えているということで、テレビでもあったし、清水町内でもクマの目撃情報もあったので、町有林というか森林と人間が住む境界線なども含めて、清水町は林業が盛んな町だと思うので、そういった点も含めて町有林のあり方について勉強できたらと思った。まちなか再生については、街の中でもシャッターが閉まっている店もあるので、できるだけ活用して、街に活気があるように、何か学んで取り組むことに対していけたらと思っている。DXについては、これから清水町だけではなくて、日本全体的にこういう方向に進んでいるので、先進地事例があるのであれば学んで生かしていけたらいいと思っている。国立公園に関しては、日高山脈襟裳十勝国立公園になり、登山口があるのは清水町であるので、観光に繋げるためにも清水町としてどうやって取り組んでいったらいいか、清水町の観光においても活気が出るように何かできることがないか学んだらいいと思っている。ジビエに関しては鹿による農村農作物の被害もたくさん出ているので、もう少し捕獲するだけではなくて、命を大切に作る点からも何か活用して、ただ命を奪うのではなくて活用できるような取り組みができないかどうか学んではどうかと思った。

委員長：山本委員からそれぞれ調査課題と調査についての内容について出された。続いて西山委員、前回上下水道の関係で提案されたが、課題とどのような項目を調査したいのかについてあれば出していただきたいと思います。

西山委員：国会でも話題になっているけれども、うちの町村でも老朽管の交換をかなりやらず

てはいけないということなので、町長も高騰対策で今回水道料も減免してやるということであるけれども、かなりこれから上下水道の施設も古くて、建て替えしなければならないという時期にきているので、水道料もかなり上げなければならない時期に来るのではないかと思うので、その辺の見極めをやっていったらいいと思って提案した。

委員長：最後に桜井委員から循環型農業の現状と課題について出されたが、話を聞かせていただきたいと思う。

桜井委員：清水町は当初バイオマス事業、美蔓地区と羽帯地区にもう1ヶ所作りたいというような町の方針があったが、それもなかなか達成できないまま美蔓が発足したけれども、当初町も農協も循環型農業を目指していて、消化液の関係で分析もしていたところで、ある程度実証実験をしているはずだが、何回かどういった成分が農業として成り立つのかという、その分析結果もなかなか示されていない状況の中で、実際に農家に聞くと、かえって消化液を使わない方が餌にしたときのサイレージにしたときの分析結果がすごく変わってくると、かえって使わない方がいいというような人もいるので、そういうこともある程度分析結果を我々がわかるような関係と、あとエネルギーの関係、先進的な鹿追、上士幌、士幌、かなり有効活用して色々なものに実証できるような町の施設だとかそういったもの使えるようなこともあり、当初送電線の関係とか色々なことでいわれていたそういったものが継続されて、町の方でもう1ヶ所ぐらい必要だという方針が変わったのか変わっていないのか。まだ目指すのかというものが見えてこないという思いがあるし、そういったことで、少し言葉足らずだが、固定資産税の免除も行っているということで、経営までは見ることはできないけれども、固定資産税がもし5年なら5年終わったときに、また延長しなければならないのか、それともまた違う方法で支援しなければならないのかというものが見えてこないのか、そこら辺を調査したいと思う。

委員長：今3人の方からそれぞれの課題と調査項目について出された。一つ一つやっていくか。山本委員から町有林の関係、今話聞いたらクマの出没の関係も含めた共存、これなかなか難しい問題だと思う。題材としてはわからないわけではないが、総務産業常任委員会として取り組むのは結論も見出しにくい部分だし、どのように調査していいかというのは難しい問題だと私は思って聞いた。二つ目のまちなか再生の関係、シャッター街の活用については、今商工観光課等を中心に色々前回も出たが、街中の何とかマップ作った。そういった話が出ているといった中で、どのようなことを具体的に調査していくかというのは、これも難しいと私は思っている。あとDXに関しては、既に取り組んでいるところもあると思う。色々な課題があると思う。書かない窓口だとか、全体的に色々なところで取り組まれたり、そういう部分をどうしていくかという部分では、調査も必要だとは思いますが、まだまだ全体的に出揃ったわけではない中で、どのような視点で調査するのかというのは、これも難しいという部分を感じている。その他国立公園の問題、ジビエの問題も国立公園の観光の問題については既に中札内とか日高の方が中心に色々されているというがあるので、そういう取り組みを視察してみるのも一つの方法だと思う。

ている。あとジビエの問題について、活用については解体の問題だとか、販路の問題だとか、気持ちはわかるが調査をどこまでやっていいのかというのは難しい面もあると思う。西山委員の上下水道の関係、これは緊急の問題、喫緊の問題だと思う。それと、桜井委員のバイオマス、今後のエネルギーの問題も含めた耕畜連携の関係になってくると思う。堆肥をどのように畑作農家に還元していくのかということも含めた、これについては今後農業の町の清水としては取り上げていかなければならない問題だと思っている。それぞれ3人から出されたが、各委員の意見も聞きたいと思う。橋本委員いかがか。

橋本委員：どれも興味のあるテーマばかりであるが、山本委員から出された町有林というのは、意図がよく私はつかめていないが、クマの出没ということから絡めていくと、例えば各地の猟友会がどういう対応をするのかという部分がまだよくわからない部分でもあるが、クマが出たときに果たしてうちの町は対応できるのだろうかということを思っている町民の方はいるのではないかと思う。行政と猟友会が協議するというか、十分に契約関係みたいなものができて進めていけるのか、その辺がよくわからない部分もあるので、今回やるかどうかは別にしてそういう観点で言えば心配している方もたくさんいると思う。バイオマス事業は、二つ目三つ目を求める声もある一方で、その採算性とか効果というものも検証していかなければならないという部分で、私たちが勉強してどう生かしていくかという問題もあるけれども、1回確認しておいた方がいいテーマだと思う。

桜井委員：この間提案したけれども、下川町が水道の関係で断水して原因がわからないと。今もわかっていないのかもしれないけれども、インフラの年数経って、埼玉の大きな事故とかを考えると、橋とかトンネルとかもあるけれども、町民に一番直結するのは上下水道だと思うので、今回の予算でもその整備に対してはある程度の予算を作っているけれども、それが本当にドンと来るのか、どういう年数を経ているのか、どういうことが想定されているのかある程度問題が起きているのかというのも、ある程度町民目線で知っておくことも大事だと思ったりもする。1回災害の前に私議員になった時に施設を見て土砂が溜まる状況だとか、メンテナンス掃除したり、使う機械を見せてもらったりはしたけれども、またそれとは違った老朽化の問題、それを含めて見るのもいいという思いはある。

西山委員：バイオの方は難しいと思う。うちの町村は本当に遅れているので、バイオ作るとなったら莫大なお金がかかってしまうので、皆が二の足踏んでできなくなっているの、国の補助金も大分下がってきたので、電力を売ると言っても安い値段でしか売れなくなったので、なかなかやるという人はこれからは出てこないのではないかと思う。かえって太陽光の方に皆切り替えて、2、3日前にもチラシが入ってきたけれども、清水町で土地を売ってくれなんていうようなことも出ているので、なかなか難しいと思う。

委員長：そういう部分では上下水道の関係ということでよろしいか。

西山委員：その方がいいと思う。国の補助金が今回どのぐらい老朽管の測量に金をばらまいてくれるかわからないけれども、それをやった方がいいと思う。

佐藤委員：バイオマス関係で調べてみたいことがある。今西山委員が話したとおり非常に色々な状況が変わっているので、これについて調査して見たいと思う。

山本委員：日本でも話題に上がって、テレビでもしていたのでインフラが大事だと思うので、上下水道調べてみるのがいいと思った。

委員長：今始まったばかりなので、今回は6月までの調査ということになっている。そういう部分では皆さん今意見言われて、バイオマス関係の方が3名、上下水道に関しては2名の方が意見を出された。そういう部分では、今回はバイオマスを調べて、次回上下水道の関係について調査をしていくという形でよろしいか。皆さんの意見がよろしければそのような形で。その他山本委員から出されたそれぞれの課題については、さらに山本委員から精査をしていただいて、実際に具体的にどういうことを調査したらいいのかということをもう一度出していただいて、その後の調査、まだこれから続くわけだから、生かしていきたいと思うがそういう形でよろしいか。

（「はい」との声あり）

委員長：6月までのテーマについては、バイオマスの循環型農業の課題についての現状と今後に向けての取り組みについて調査をしたいと思う。調査の中身についてはまず農林課の話を聞きながら、あと、実際に行っているバイオマスの株式会社、熊牛の会社形式でやっていると思うので、直接視察に行つて話を聞きながら。

橋本委員：相手のあることなので、受け入れできないと言われたら、上下水道に振りかえるというプランBを持ちながら調整したら良いと思う。

議会事務局長：一応24日報告しなければならないので、どういう形にしてもバイオマスでいかなと。

委員長：農林課と農協の話は聞けると思うので、あとは現地調査できるかどうかも含めた取り組みについてやっていきたいと思う。そのような形で進めてよろしいか。

（「はい」との声あり）

委員長：具体的な中身については私の方と副委員長と事務局の方でさらに詳細を詰めていきたいと思う。タイトルはバイオマスという具体的なものを出していくのか、それとも循環型農業の今後の課題としていくのかどうしたらよいか。バイオマスが中心になるか。そう

いう部分で話をしていたけれども、桜井委員から出たように、鹿追とか、上士幌とか、先進地も視察の調査項目に挙がってくると思うが、どのように進めたらよろしいか。

桜井委員：過去には産業常任委員会で私が委員長の時、浜中町と別海町3泊4日で、強行手段であちらこちらを見せていただいたり、白糠の糞尿の臭いをチョコレートの臭いに変えるというような試験とか、そういったものを視察させてもらった。あのときはバイオマスだったけれども、結局別海も実証実験が継続できなくて解散してしまったけれども、中には処理しきれなくて、ある程度決まった面積を確保して、常に糞尿だけを巻くような畑を用意するとか、想像つかないようなおかしいところがあるので。前町長は循環型農業ということをやいぶん言っていたので、そういったものをもう一つ作って、そしてうまく回って売電もできればいいという話だったけれども、それが叶わなかった。

橋本委員：バイオマス事業というと、バイオマスプラントの他に農協がやっているペレット製造工場も一応バイオマス事業だけれども、それで補助金もらって最初に立ち上げた、絞るのであればバイオマスプラントということ。

委員長：今いろいろ意見出されたが、バイオマスプラントに今回は絞るということで、全体のバイオマスについてはまだ今後の調査項目に広げて調査してもいいと思うので、今回はまずバイオマスプラントについての今後について、現状と課題を調査するというので、これどうするか、鹿追とか上士幌、先進地も含めて調査した方がいいと思うが。それは今後の課題として、まずは町内の現状の二つ、バイオマスプラント、特に美蔓を含めた課題と今後について調査をするということによろしいか。

（「はい」との声あり）

議会事務局長：調査対象としては農林課とそのプラントの運営会社と農協の3社。運営会社は現地で話を聞きたいと。

（2）その他

委員長：そのような形で今回調査をしていきたいと思うのでよろしくお願いします。その他として皆さんの方から何かあれば出していただきたいと思う。次回の日程は私と副委員長と事務局で調整をさせていただいて、4月から調査に具体的に入るということによろしいか。

（「はい」との声あり）

委員長：それではそのような形で進めてまいりたいと思う。その他皆さんの方から特になければ

以上で本日の総務産業常任委員会を終了する。

【終了 14 : 01】